

令和4年度 学校関係者評価書

学校園名 附属世田谷中学校

1 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等の臨機応変な対応を前提とした活動計画については、運動会、芸術発表会、3年生を送る会などは、ICTも活用しつつ、実施できたことは、高く評価できる。来年度以降もコロナウイルス感染症対策を念頭に置いた計画が必要になるが、今年度の工夫が活用されることを期待する。 ・ICT活用WGを立ち上げ、この組織が様々な提案がしている状況は、学校運営に大きな貢献をすることになると考える。この組織を学校運営に寄与させるために、組織の位置づけを明確化するべきと考える。
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に関するアンケート結果を見る限り、「授業工夫充実」や「授業主体性」に関しては高い満足度を獲得できている点は、特に高く評価できる。また、コロナ禍における課題としてのオンライン授業についてもICT教育の浸透を確認することができる。 ・いじめ防止については、組織的な取組をされているが分かるが、取組の一層の推進を期待する。アンケート結果から、いじめへの対処や相談できる先生について否定的な回答をしている生徒が一定数おり。生徒のなかに表面上に表れにくい、潜在的な不安があるのではないかと推察する。日頃からの意識的な声掛け等、常に改善を図る姿勢が大切である。
研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会をオンラインで初めて実施できたことは、全国から多数の参加者を得ることができた点においても、大きな収穫であると思われる。また、昨年度実施できなかった授業研究会も実施し、学校研究ともつなげ、効果的な意見交換ができた点も、今後活用できると考える。 ・学校研究を、情報活用能力に視点を当てて教科横断的に取り組むことは、これからの学校教育で重要な視点である。期待している。
学生の教育・支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・附属学校の役割として根幹となる教育実習については、妥協なくかつ柔軟にご対応頂いているようにみえる。オンライン授業等を通して指導ができたことは、実習生にとっても貴重な経験になったと捉えることができる。実習生との期間外交流、教育実習の効果測定（例：修了後アンケート調査の実施等）も期待したい。
社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・現職教員研修については、コロナ禍ゆえに予定通りすべて実施することは出来なかった点は残念ではあったが、いくつかの教科においてオンライン実施できた経験は、来年度以降につなげることができるという意味で高く評価できる。 ・現職教員研修の更なる強化（例：オンライン研修の拡大、実施科目の拡大、教科横断的研修の導入、区教育委員会・区内中学校との連携等）を期待する。

2 評価の実施概要

学校側から生徒・保護者の学校評価アンケート結果、自己評価等の資料を送付し、その後意見をいただいた。